



# 地域支援センター「みみらんど・郡山」

平成27年度 きこえとことばの基本研修会



## 第4回 「障がい認識について」

9月30日(水)に第4回きこえとことばの基本研修会が行われ、中村孔一教諭が自らの体験を交えながら、「障がい認識」について話をしました。



### 障がいの認識とは？

#### 障がい認識

「きこえないという特徴をもった自己への肯定的認識と、きこえる周囲に対する認識」

(東京学芸大・濱田豊彦准教授)

#### ① プラスの障がい認識

聞こえないことは、恥ずかしいことではない。できることはたくさんある。

困ったときには、どのようにすれば解決できるのか、考えて行動できる。

#### 障がいに目覚めること！

#### ② マイナスの障がい認識

聞こえる人のようにになりたい。元氣長れば聞こえる人になれると思う。

⇒ 社会に出たときに多くの壁にぶつかる。

### 聴覚障がい者の心理

#### ① 対人恐怖症

コミュニケーションがとれないので怖い。

#### ② 脅迫観念(被害妄想)

自分のことを悪く言っている。無視された、迷惑をかけている、と考えてしまう。

#### ③ 障がい状況 暴露恐怖

聞こえないことを知られると恥ずかしい。

#### ④ 能力不足 暴露恐怖

うまく話せないことを知られたくない。

#### ⑤ 内容省略反応

もっと話したいが、通じないと嫌なので簡単にすませる。

#### ⑥ 打ち切り反応

勉強がわからないと先生に突っ込まれるので、わかったふりをして早く終わる。

### 子どもたちが

### 自信を持つために！

#### ① 環境整備

子どもたちの前にいるときは、聞こえる教員同士でも手話で話す。

#### ② 障がい認識

「聞こえないからできる」という考え方に換える。

#### ③ アイデンティティ

聞こえないことに誇りをもたせる。

#### ④ コミュニケーション方法の確立

口話、手話、筆談、空書、ジェスチャーなど通じるコミュニケーションを堂々ともたせる。

#### ⑤ 知識・社会常識の向上

マナーや常識を知らないので、指導時間を確保し、指導の仕方を工夫する。

### 教師に求められること

- ・子どもと通じるコミュニケーション能力
- ・子どもを認める心のやさしさ
- ・「わかった？」ではなく「わかったことは？」と聞いて、わかったことを説明させる。
- ・「わかる授業」の展開

### 力を入れていること

- 委員会活動・部活動
- ・自主的・自立的な活動を促すためには効果的な場である。
- ・聞こえる人に勝つ経験が自信になる。



### 参加者の感想

☆中村先生のとて熱い想いに感動しました。小5と小1の担任ですが、今から将来を見据えた指導をしっかりとしていかなければ、と強く思いました。児童に自信をもたせる指導をがんばります。

☆「障がい認識は、聞こえる人が作った言葉」と聞いて、ドキッとしました。聞こえ難い人の気持ち、考え、体験を聞いてよかったです。明日から、生徒への接し方をもっと変えていけると思いました。